

胃カメラによる胃がん検診

11月15日(月)
まで受付中

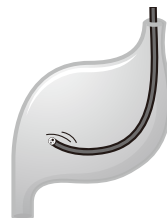
多くの方が受診している胃がん検診（胃カメラ）の受付を、11月15日(月)で締め切ります。それまでに定員に達した場合には、受付の締め切りをさらに繰り上げますのでお早めの申し込みをお願いします。

詳しい内容は広報いな6月号をご覧ください。健康増進課にお問い合わせください。

実施期間 7月1日(木)～11月30日(火)

対 町に住民登録があり、令和4年3月31日現在（年度末）の年齢が50歳以上の方のうち偶数年齢の方

50歳：昭和46年4月1日～昭和47年3月31日
52歳：昭和44年4月1日～昭和45年3月31日
54歳：昭和42年4月1日～昭和43年3月31日
56歳：昭和40年4月1日～昭和41年3月31日
58歳：昭和38年4月1日～昭和39年3月31日
60歳：昭和36年4月1日～昭和37年3月31日
62歳：昭和34年4月1日～昭和35年3月31日
64歳：昭和32年4月1日～昭和33年3月31日
66歳：昭和30年4月1日～昭和31年3月31日



68歳：昭和28年4月1日～昭和29年3月31日
70歳：昭和26年4月1日～昭和27年3月31日
72歳：昭和24年4月1日～昭和25年3月31日
74歳：昭和22年4月1日～昭和23年3月31日
：

※以降同じように2歳刻みの方が対象となります。

申 健康増進課窓口または電話

受診方法▶申し込み後に送付される受診券を受領後、受診券に記載のある検診実施医療機関に予約をしてから受診してください。



緑内障について

人間は五感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）から様々な情報を得ています。特に視覚は全体の約80%もの多くの情報を目から集め、脳に伝えています。緑内障はその視覚にダメージをあたえます。

〈どんな病気？症状は？〉

眼球の中の眼と脳をつなぐ神経が徐々に弱っていき、ものの見える範囲が狭くなり、部分的に欠け、視力が低下する病気です。多くの場合は初期の段階で自覚症状はほとんどありません。見えづらいことに気がついた時にはすでに進行していることもあります。

普段は両眼でものを見ているので、片眼が病気になっていても気づかないことがあります。日本人の視覚障害の原因疾患第1位が緑内障で、40才以上の日本人の20人に1人が緑内障というデータがあります。

〈原因は？〉

原因については詳しくはわかりません。

加齢、肉親に緑内障の方がいる、強い近視、血流循環が悪いなどが病気発症の危険因子と考えられて

います。

〈どんな検査をするの？〉

自覚症状に乏しいため、少なくとも年1回は直接眼科受診されるか、健康診断や人間ドックなどを積極的に利用し一般的な検査を受け、緑内障の疑いがあった場合は眼科にてさらに詳しい検査を行うこともお勧めです。

眼科での検査には視力、眼圧、視野、画像検査などがあります。画像検査については検査機械もかなり進歩していて早期診断に有用です。

〈治療は？〉

緑内障は一生付き合う病気で、治療も継続が必要です。

ほとんどの場合点眼薬による治療を行います。1種類で効果が不十分であれば、他の種類の点眼薬や飲み薬を追加し、場合によっては手術を行うこともあります。

大切なのは、定期検査、薬の治療を忘れないこと、あきらめずに治療を続けることが大切です。

最後に、他の病気でも同じですが症状が悪化する前に早期発見・早期治療をすることが大切です。

〈提供：（一社）桶川北本伊奈地区医師会〉

医療機関等の適正な受診を!

医療費をムダなく有効に使うために、医療機関等は適正に受診しましょう

- ・やむを得ない場合以外は、休日や夜間の受診は控えましょう。
- ・かかりつけ医を持ちましょう。
- ・同じ病気で複数の医療機関を受診する「はしご受診」は控えましょう。



- ・ジェネリック医薬品を活用しましょう。
- ・健康診断を定期的を受け、病気の早期発見、早期治療を心がけましょう。

☎ 保険医療課 2174

蚊を介する感染症の予防対策

～感染症流行地域へ渡航する場合には万全な対策を～

これから蚊が発生する季節を迎えます。ウイルスなどの病原体に感染した人や動物の血を吸った蚊に刺されることで、さまざまな感染症にかかる恐れがあります。

蚊が媒介する感染症にかからないためには、住民一人一人が、感染症の流行地域で蚊に刺されない、住まいの周囲に蚊を増やさない対策をすることが重要です。

○**感染症流行地域では、蚊に刺されないようにしましょう。**

- ・海外へ渡航する際には、渡航前に現地での感染症流行状況を把握しましょう。もし蚊を媒介とする感染症の流行地域へ渡航される場合

には、蚊に刺されないように万全な対策をしましょう。

- ・屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されない対策をしましょう。

○**住まいの周囲に、蚊を増やさないようにしましょう。**

- ・蚊は、植木鉢の受け皿や屋外に放置された空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりで発生するので、日頃から住まいの周囲の水たまりをなくすように心がけましょう。

※蚊の活動は概ね10月下旬ごろに終息します。これらの対策は10月下旬ごろまでを目安に行いましょう。

彩の国さいたま「愛の血液助け合い運動」

実施期間 7月1日(木)～8月31日(火)

埼玉県では献血への理解をより推進するため、2か月間にわたり、彩の国さいたま「愛の血液助け合い運動」を実施しています。

血液は、人工的に造ることができず、長い間保存することもできません。また、献血される方の健康を守るため、1人あたりの献血量には上限があります。そのため、安定的に血液製剤を届けるためには、日々多くの方のご協力が必要です。



新型コロナウイルス感染拡大下においても、埼玉県では毎日700人の献血へのご協力が必要です。

皆様の温かいご協力をお願いします。